

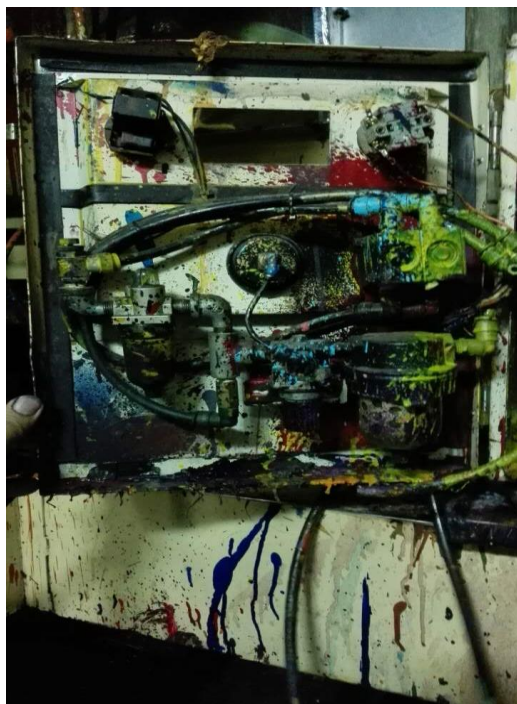
インク汚れ防止構造デザイン（粘コン機械室内をいつも綺麗に保持）

粘度コントローラーを使用中、ポンプ詰まりが起こり、それを修理しようとする時に、ホース内に溜まった詰まったインクが粘コン内に飛び散ってしまうことは避けられません。飛散したインクが粘コン内の部品類に付き、その後拭き取ろうとしても、なかなか拭き取れません。その結果、部品類もインクまみれになり、部品の破損等に繋がります。

VISCON は仮にそのような粘度コントローラー修理の時の”インクの飛散発生時”に、インク汚れ防止構造により、粘コン内の部品類をインクの飛散から守っています。飛散したインクは、インク汚れ予防パネル と エアー機器保護ボックスで部品を守ります。インク汚れ予防パネルやエアー機器保護ボックスは、ステンレス製で平面なので、拭き取りも簡単。いつまでも粘度コントローラー内を綺麗に維持できます。（結果、部品の劣化も防げます。）

インク汚れ防止構造のない従来の粘度コントローラー

（粘度コントローラー内がインクで汚れてしまう、拭き取りにくい）



【上のインク汚れの粘度コントローラーの写真の説明】

一旦、インクで汚れると、部品機器も密集しているために、また、平面でもないため、インク拭き取りは ほぼ不可能。それで上の写真のようにインク汚れが残り、更に次の汚れが重なる。まさに、“割れ窓理論”で インクの汚れの重大化と部品の劣化が進む。

VISCON 粘度コントローラー

インク汚れ防止構造により、いつまでも綺麗に維持でき部品も保護。



インク汚れ予防ボックス（エアー機器類）

インク汚れ予防パネル